

## 第12回 自死遺族ケア団体全国ネット スタッフ研修会

自死遺族の直面するさまざまな課題に

どう共に歩み、サポートし合っていくか

なぜ人は自ら命を絶つのか。その要因についての見解はさまざまです。一方で、その要因と見なされる要素が、それぞれ相互に絡み合い、その中の一つに断定し、決めつけることも困難と思われまます。

その結果、遺された遺族たちが直面する課題もさまざまに複雑です。本研修会では、そのような複雑な課題を抱える自死遺族と、「分かち合い」グループを通じて共に歩み、サポートし合っていく際に肝要な課題について学び合います。

### 【開催要項】

- 日時 2018年3月3日(土) 13:00～17:00
- 会場 東京・四谷「主婦会館」プラザエフ (地図参照)
- 参加対象者 ・自死遺族支援・自助グループのスタッフ(世話役) ・自死遺族支援・自殺対策に携わる行政関係者 ・いのちの電話相談スタッフ ・今後スタッフを志す方 ・支援・自助グループの立上げを意図する関係者など
- カリキュラム 別紙を参照ください
- 定員 約50名
- 参加費 1,000円
- 申込み 2017年2月20日までお申込みください。
- 申込み先 郵送、ファックス、メールにて、以下まで。  
〒107-0052 東京都港区赤坂9-2-6 カルム第2 赤坂103号  
「自死遺族ケア団体全国ネット」 Fax:03-5775-3871  
メール: [info@jishicare.org](mailto:info@jishicare.org)

主催 自死遺族ケア団体全国ネット

後援 厚生労働省 一般社団法人日本いのちの電話連盟  
NPO 法人グリーフケア・サポートプラザ  
NPO 法人生と死を考える会

自死遺族の直面する複雑な課題に

どう共に歩み、サポートし合っていくか

## 【カリキュラム】

【基調提言】 自ら命を絶つ要因と

自死についての日本と西洋の文化的背景の相違を考察

(13:00~14:20)

講師：精神科医 医学博士 東京医科大学名誉教授  
いいもりこころの診療所院長 飯森眞喜雄氏

なぜ人は自ら命を絶つのか。その要因や背景についてはさまざまな見解がなされて久しい。精神疾患が主な要因とか、自らの尊厳的意思とか、苦難からの解放願望、周囲からの過度の孤立など、それぞれ相違がある。一方で、深いところで交差もし合っている。本講座では、精神科医として豊富な臨床経験があり、かつ自死問題に長く関わり、日本の伝統文化にも造詣の深い立場から、このテーマについて論じていただきます。

【飯森眞喜雄氏プロフィール】

東京医科大学医学部卒。医学博士。いいもりこころの診療所院長。  
東京医科大学名誉教授。日本臨床死生学会理事長。日本自殺予防学会常務理事

〔休憩〕

(14:20~14:30)

【パネルディスカッション】自死遺族が直面しがちな課題への対応について

(14:30~16:20)

身近な大切な人に突如、自ら命を絶たれ遺されてしまった遺族たちにとって、そこから始まる日常にはさまざまな困難が待ち受けています。それは例えば、なぜ、どうしての不条理感、自らを責めたる罪責感、周囲の冷たい目線・偏見、深い孤立感、生活や法律問題などの難題です。

自死遺族「分かち合いの会」の場において、遺族たちのそのような複雑でさまざまな課題に

直面した際、支援スタッフたちは、どのような適切なサポートを試みられるかについて、支援現場で活躍中のパネラー間で意見交換をいたします。

### 【パネリスト】

○認定 NPO 法人 グリーフケア・サポートプラザ 副理事長

吉久 小夜子氏

※自死遺族支援に特化した活動を、10 数年前から実施している NPO 法人の自死遺族支援「分かち合いの会」の担当理事として活躍中。

○岐阜県「千の風の会」 代表 木下 宏明氏

※妻と 1 人息子を自死で喪失後、岐阜県及び精神保健福祉センターと共に「遺族の集い」発足させ、自死遺族の想いを行政に反映する活動を実施中。

○千葉いのちの電話 自死遺族のつどい「ひだまりの会」 スタッフ

※全国のいのちの電話グループのなかの 5 グループと共に自死遺族支援活動を開始し、現在、自死遺族支援「ひだまり」を運営している。

### 【コーディネーター】

○自死遺族ケア団体全国ネット代表

藤井 忠幸氏

### 【休憩】

(16:20~16:30)

### 【まとめに際してのコメント】

(16:30~17:00)

講師：奈良女子大学名誉教授

清水 新二氏

### 【清水新二氏プロフィール】

国立精神・神経センター精神保健部部長を経て奈良女子大学生生活環境学部生活文化学講座教授。2010 年定年退官。

現在、奈良女子大学名誉教授、放送大学客員教授。大阪市自殺対策連絡協議会部会長など。

※講師やテーマ、時間等は、都合により変更になることもあります。